

# 子どもたちに絵本を贈ります

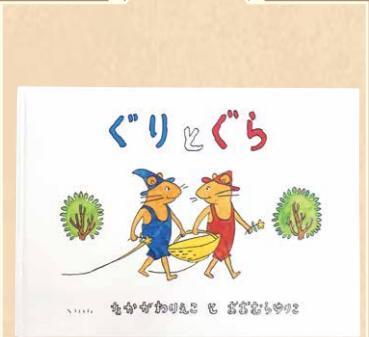
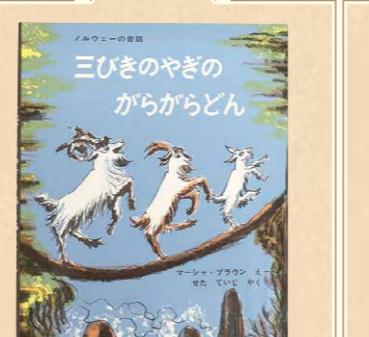
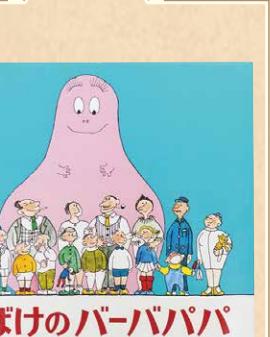
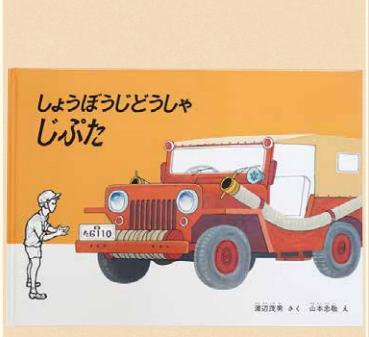
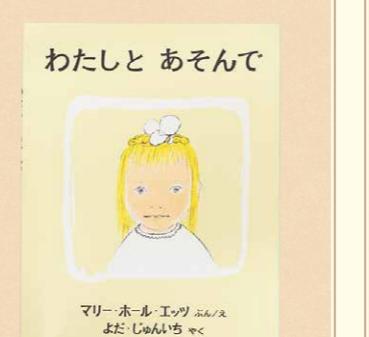
図書館司書  
が選ぶ

## 4歳児(年中)さんへのおすすめ本

この中から1冊 選んでください

### 本を選ぶポイント

- 絵、ストーリーに温かみがあるもの
- 言葉にリズム感があるもの
- ストーリーが単純で、起承転結がはっきりしているもの
- 繰り返しの面白さがあるもの
- 子どもの成長や興味に合っているもの

 <p><b>ぐりとぐら</b> なかがわりえこ／作 おおむらゆりこ／絵 福音館書店</p> <p>のねずみのぐりとぐらがすきな のは、お料理することと食べ ること。ある日、森で大きなたまご を見つけてカステラを作ること に。</p>	 <p><b>ぞうくんのさんぽ</b> なかひろたか／作・絵 福音館書店</p> <p>ぞうくんがさんばに出かけます。 途中で出会ったかばくんやわに くんたちを背中にのせていきま すが、だんだん重たくなってき て…。</p>	 <p><b>だるまちゃんとてんぐちゃん</b> 加古里子／作・絵 福音館書店</p> <p>てんぐちゃんの持っているもの が何でもほしくなるだるまち ゃん。うちわやげた、しまいには 鼻まで。お父さんのだるまどん が思いつく限りのものを集め てきますが…。</p>	 <p><b>こすずめのぼうけん</b> ルース・エインズワース／作 石井桃子／訳 堀内誠一／画 福音館書店</p> <p>飛び方を教わったこすずめは、 元気に巣から飛び出します。つ かれてしまって他の鳥の巣で 休もうとしますが「なかまじやな い」と入れてもらえません。</p>	 <p><b>三びきのやぎのがらがらどん</b> マーシャ・ブラウン／絵 せたていじ／訳 福音館書店</p> <p>三びきのやぎが、橋のむこうの 山へ草を食べようとでかけます。 待ちかまえるのは、谷に住むば けものトロル。やぎたちはぶじ に橋をわたることができるので しょうか。</p>	 <p><b>ひとまねこざる</b> H.A.レイ文・絵 光吉夏弥／訳 岩波書店</p> <p>おさるのじょーじは、しりたがり やです。なんでもやってみなく ちゃ気がすみません。ある日、 動物園からぬけだして、あちら こちらでさわぎをおこします。</p>	 <p><b>はらぺこあおむし</b> エリック・カール／作 もりひさし／訳 偕成社</p> <p>あおむしはおなかがペっこべこ。 月曜日はりんごをひとつ、火曜 日はなしをふたつ…と次々に食 べていきます。穴あきのしきけ 有り。</p>	 <p><b>おばけのバーバパパ</b> アネット・チゾン／作 タラス・ティラー／絵 山下明夫／訳 偕成社</p> <p>バーバパパは体のかたちを自 由にかえることができます。だ れでも、いつしょに遊んでみた くなる人気者、バーバパパのシ リーズ最初のおはなし。</p>
 <p><b>しょうぼうじどうしゃじぶた</b> 渡辺茂男／作 山本忠敬／絵 福音館書店</p> <p>じぶたはちいさな消防車。りっ ぱなはしご車や高圧車のす みっこでちょっとしょんぱり。で も、みんなが本当に困ったとき、 じぶたの出番が来るのです！</p>	 <p><b>わにわにのおふろ</b> 小風さち／文 山口マオ／絵 福音館書店</p> <p>わにわにはおふろがだいすき。 おもちゃで遊んで、あわを飛ば して、歌もうたいます。「ずるず り」「じょろろーん」と楽しいこと ばは、思わず口にしたくなりま す。</p>	 <p><b>どろんこハリー</b> ジーン・ジョン／文 マーガレット・ブロイ・グレアム／絵 わたなべしげお／訳 福音館書店</p> <p>ハリーはおふろがだいきらい。 家からにげだして、外で思いつ きり遊ぶと、どろんこでまくろ に！ 家に帰っても誰もハリー だと気づいてくれません…。</p>	 <p><b>わたしとあそんで</b> マリー・ホール・エッツ／文・絵 よだじゅんいち／訳 福音館書店</p> <p>女の子がはらっぱで動物たち に「あそびましょ」と声をかける と、みんなにげてしまします。で も、じっと静かにしているとだん だん動物たちが戻ってきます。</p>	 <p><b>かいじゅうたちのいるところ</b> モーリス・センダック／作 じんぐうてるお／訳 富山房</p> <p>いたずらをしたマックスは、閉 じこめられた寝室から船にのつ て旅に出ます。ついたのは、かい じゅうたちのいるところ。個性 的なかいじゅうの絵が楽しい。</p>	 <p><b>わたしのワンピース</b> にしまきかやこ／作・絵 こぐま社</p> <p>うさぎが真っ白なワンピースを 着て、お花畠をさんぽすると、あ らふしぎ、ワンピースが花もよう に…。次々に変わるもうよとリズ ミカルな文が楽しい。</p>	 <p><b>しろくまちゃんのほっとけーき</b> わかやまけん／作・絵 こぐま社</p> <p>しろくまちゃんが、お母さんと ほっとけーきをつくります。「ぼ たあん」「どろどろ」「ぱつぱつ」 ほっとけーきが焼ける場面は、 いいにおいがしてきそう。</p>	 <p><b>おいしいのぼうけん</b> ふるたたるひ、たばたせいいち／作 童心社</p> <p>あきらとさとしは、おひるねの時 間にけんかをして、おいしいに 入れられてしまいます。おいし いの世界で出会ったのは、地下の 世界に住むねずみばあさんで した。</p>